

# CUBE SYSTEM Message

第50期 株主通信 | 2021年4月1日▶2022年3月31日

キューブシステムの、今とこれからをお知らせします

サステナビリティ経営を軸にした  
中長期経営ビジョン「VISION2026 (V2026)」で  
社会の変革に対応した持続的な成長を目指します

## 創業50周年と上場20周年を迎えます

当社は2022年に創業から50年を迎えることができました。また、JASDAQ市場に上場して20年という節目の年となります。これもひとえに株主さまをはじめステークホルダーの皆さまからの温かいご支援があったのことで考えております。書状を通じてのお礼になりますが、深く感謝申し上げます。

## 過去最高の業績を達成

2021年度の情報サービス業界は、テレワークの浸透やDX化推進等、旺盛なIT投資が続いており、業界全体的に景気回復へと向かう動きがみられました。そうした中で当社も、昨年度より好調だった運送事業会社向け案件の受注拡大に加え、コロナ禍の影響で抑制がみられた流通業を含め、お客さま全般からの積極的なIT需要に対応することができました。その結果、2021年度の業績は売上・利益ともに過去最高となりました。



代表取締役 社長執行役員 兼 CDO  
中西 雅洋

## 2021年度の取り組み

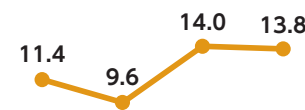
2021年度は「V2026」の初年度として第1次中期経営計画で掲げた「新たなビジネスモデルへの変革に向けた基盤づくり」に注力するとともに、サステナビリティ経営の推進に向けた取り組みを進めました。

実績としては、「SIビジネス」へのリソース集約化を図れたことでビジネスモデル変革および生産性の向上が実現できました。また、投資家との対話促進に向けた統合報告書の発行や、人材育成におけるキャリアフィールド形成を進めることができました。

## 財務ハイライト

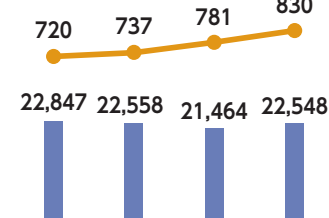
売上高(百万円)	営業利益(百万円)	経常利益(百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)
16,099 対前期比 8.9% ↑	1,417 対前期比 20.7% ↑	1,432 対前期比 10.6% ↑	944 対前期比 11.9% ↑

● ROE(自己資本利益率)(%)



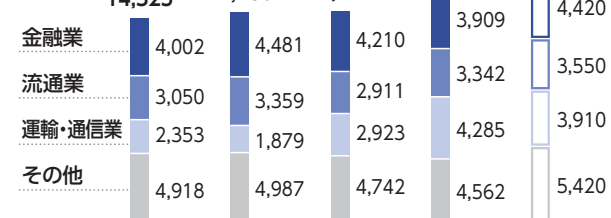
2018年度 2019年度 2020年度 2021年度

■ 1人当たり売上高(連結)\* (千円)  
● 従業員数(人)



\* 海外子会社の従業員数を除いて算出しております。

業種別売上高実績(連結)(百万円)



2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度計画

## 3つのビジネスモデルで「V2026」を推進

「V2026」では、「デジタルビジネス」「SIビジネス」「エンハンスビジネス」の3つのビジネスモデルにフォーカスし、事業の成長を通じて豊かな社会に貢献していきます。

## 新たな技術で挑む「デジタルビジネス」

「デジタルビジネス」では、新しいデジタル技術を使ったビジネス創出を目指しています。

例えば社員間のコミュニケーションを見える化して促進する「スマイルシェアプロダクト<sup>※</sup>」は当社発の企画型ビジネスの一つです。

「スマイルシェアプロダクト」については、展示会で「自社で使ってみたい」といったお声をいただいていますので、社会課題の解決に貢献するという観点からも事業化を進める予定です。

「エンハンスビジネス」の中に「デジタルビジネス」の芽が数多くありますので、DX事業推進室を中心に全社を挙げて取り組み「デジタルビジネス」を確立していきます。

※詳細は当社ホームページをご参照ください。

<https://www.cubesystem.co.jp/service/smile/>

## 規模の拡大を目指す「SIビジネス」

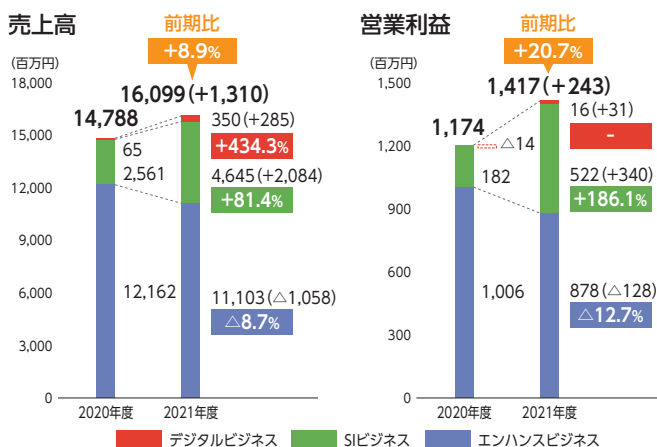
「SIビジネス」はお客様のDXへの取り組み進展に伴う需要の増大に応じ、規模の拡大を目指しています。既存システムをクラウド上のサービスと連携し再構築するLift&Shift型の「SIビジネス」は、多種

多様な領域での技術が関連します。そこで、全方位的な事業拡大ではなく、当社の得意な領域にフォーカスしてその分野に精通した技術者を増やすとともに、専門各社との協業でこの分野の旺盛な需要に応え、実績を積み上げていきます。

## 成長の原資を生む「エンハンスビジネス」

従来当社の強みとしてきた「エンハンスビジネス」は、成長を支える収益基盤として位置づけ、生産性と収益性の向上に向けた取り組みをさらに強化しています。

ポイントとしては、グループ協業モデル活用（北海道やベトナムなど国内外の開発拠点・子会社との連携）、社員・パートナーさまの拡充と多様な就業スタイルに対応していくことです。また、当社のノウハウを集結した独自の開発・運用基盤の構築/運用を進めていきます。これらの施策を通じて規模拡大・収益性の向上を目指します。



## 50周年を記念した特別サイトを開設

50周年記念サイトでは、50年の歩みや周年ロゴに込めた想い等について掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.cubesystem.co.jp/50th/>



## 上場20周年

上場20周年を記念し、東京証券取引所にて記念撮影会を行いました。





## 変革を支える「人」の成長を推進

当社はウェルビーイング経営を目指しており、「V2026」では非財務の観点からの重要経営指標を設定しました。

その一つが「ダイバーシティ指標」です。ダイバーシティには、性別や人種、障がいの有無、価値観やキャリアの違いなどさまざまな要素が含まれます。第1次中期経営計画では、「女性の活躍推進」「育児と介護」「障がいのある方の採用と活躍できる環境構築」を重点施策とし、女性管理職が一定の比率を超えるように目標値を設定しました。

他にも「働きがい指標」として有給休暇取得率の向上によりウェルビーイングな状態を目指し、「コミュニケーション指標」として「スマイルシェアプロダクト」の一つであるサンクスコネクトによるコミュニケーション量の測定・活性化を進めます。

## 今後と業績見通しについて

当社は創業50周年を迎え、堅調に事業を伸ばしてきましたが、厳しい局面も多々ありました。それを乗り越えられたのは、創業以来、お受けした仕事は必ず仕上げるという強い責任感を持ち続け、志を同じくする「人」を成長させる投資を積極的に行ってきたからだと考えています。今後も当社の成長の原動力である「人的資本」中心の経営で、変革に対応した持続的成長を目指してまいります。

次年度のIT業界を取り巻く事業環境につきましては、経済面・政情面など世界的に不安定要素が増

しているものの、DXを中心とした国内企業のIT投資はさらに拡大傾向にあります。このような投資動向を踏まえ、第1次中期経営計画の財務目標を上方修正いたしました\*。まず、「V2026」の第1次中期経営計画を着実に推進して、変革を成果へつなげ、成長を加速させる第2次中期経営計画に移行できるよう努めてまいります。

### 第1次中期経営計画 財務目標の修正

(単位:百万円)

	2022年度計画		2023年度計画	
	当初計画	修正計画	当初計画	修正計画
売上高	17,200	17,300	18,500	19,000
■ デジタルビジネス	400	780	500	1,000
■ SIビジネス	4,500	5,140	5,000	5,700
■ エンハンスビジネス	12,300	11,380	13,000	12,300
営業利益	1,340	1,530	1,480	1,710
営業利益率	7.9%	8.8%	8.0%	9.0%
ROE	13%以上			

\*2022年5月11日付で「中期経営計画の財務目標修正に関するお知らせ」を開示いたしました。



## IR Information

### 初の統合報告書を発行いたしました

「V2026」に基づき、財務情報と非財務情報を体系的にまとめ、当社がどのように持続的成長を実現していくのかについてお伝えしています。

<https://www.cubesystem.co.jp/ir/library/integratedreport/>



### 日経CNBC「~攻めのIR~」に出演しました

企業の“今”を投資家の皆さまにお届けするIR番組「~攻めのIR~ Market Breakthrough」



(提供:日経CNBC・SBI証券)に、当社代表取締役 社長執行役員 中西雅洋が出演しました。オンデマンド動画もごさいますので、ぜひご覧ください。

<https://www.cubesystem.co.jp/presentation/>



## 株主の皆さまの資産価値の向上を目指して、 配当金・株主優待の充実を図っていきます。

### ◆ 配当金

当期につきましては、1株当たり

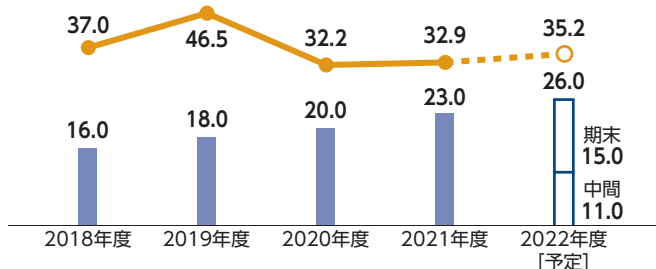
年間23円の配当とさせていただきます。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要課題と認識しており、経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向35%を目安に安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2021年度の期末配当金につきましては、業績などを総合的に検討いたしました結果、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、2022年4月13日開催の取締役会決議により1株につき15円とさせていただきます。なお、中間配当金1株当たり8円とあわせまして、年間配当金は前年度より3円増配の1株当たり23円となりました。

2022年度の配当金につきましては、1株当たり年間26円とし、中間配当11円、期末配当15円を予定しております。

■ □ 1株当たり配当金(円) ● ○ 配当性向(%)



### ◆ 株主優待

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主さまの増加促進を図ることを目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待は毎年9月末日現在の株主名簿に記録された株主さまを対象に、下記の基準でJCBギフトカードを贈呈いたします。

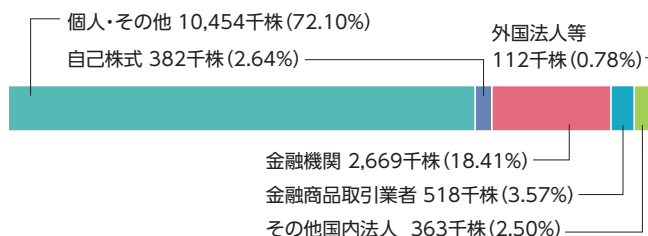


保有株式数	優待内容
200株以上 400株未満	JCBギフトカード 1,000円分
400株以上 1,000株未満	JCBギフトカード 2,000円分
1,000株以上	JCBギフトカード 3,000円分

### 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 22,364,000株  
発行済株式の総数(自己株式382,692株を除く) ... 14,117,308株  
株主数 ..... 9,248名

### 所有者別分布状況 14,500,000株(自己株式を含む)



### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上記基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	毎年3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日綱町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (受付時間:平日9:00~17:00/フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(当社ホームページ <a href="https://www.cubesystem.co.jp/">https://www.cubesystem.co.jp/</a> に掲載。) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

### ● 株式に関するお手続き用紙のご請求について

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙のご請求は、以下のお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

TEL 0120-232-711

(受付時間:平日9:00~17:00/フリーダイヤル)

インターネットアドレス

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

# CUBE SYSTEM

株式会社キューブシステム

本社 東京都品川区大崎2丁目11番1号 大崎ウィズタワー  
〒141-0032 TEL.03-5487-6030(代)

西日本ソリューション 大阪府大阪市中央区本町1丁目6番16号 いちご堺筋本町ビル6階  
事業本部 〒541-0053 TEL.06-6260-2266(代)

名古屋オフィス 愛知県名古屋市中区栄2丁目11番19号熊田白川ビル7階  
〒460-0008 TEL.052-211-9140



公式Twitter

[https://twitter.com/cubesystem\\_jp](https://twitter.com/cubesystem_jp)



UD  
FONT



PROJECT-  
With the Earth  
この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

